

宮城県日中友好協会

TEL・FAX 022-274-3811

E-メール jcfa-miyagi@rose.plala.or.jp

ホームページ <https://miyagi-jcfa.com/>



7月、(文月 ふみつき)。夏木立の緑濃く、木漏れ日も輝くころとなりました。当協会の新年度スタートの月です。

1. 7月の行事予定

日 時	行 事 名	場 所
7月19日(土)	宮城県日中友好協会理事会 13:30～	宮城県民会館 603 小会議室

1. 富谷市日中友好協会 設立30周年記念「馬頭琴の調べと講演会」を開催

◇バヤラト氏ご夫妻による馬頭琴の弾き語り「スーホの白い馬」

◇泉川友樹氏による講演 演題「本当の中国を伝えたい」

5月24日、富谷市日中友好協会の設立30周年を祝う記念事業「馬頭琴の調べと講演会」が、成田公民館で開催されました。若生裕俊市長をはじめ、多くのご来賓の臨席を賜り、松田会長の挨拶で開会し、若生市長からご祝辞をいただきました。

第一部では、バヤラト氏ご夫妻による馬頭琴の弾き語り「スーホの白い馬」が披露されました。モンゴルの伝統楽器である馬頭琴の弾き語りに、モンゴルの雄大な情景が心に浮かび、多くの人々が聴き入っていました。

第二部では、日本国際貿易促進協会の事務局長である泉川友樹氏による講演が行われました。泉川氏は中国国家主席の通訳も経験した実績のある方で、「本当の中国を伝えたい」というテーマのもと、中国の歴史や現代社会の一面などを、ご自身の実体験を通して、日本との関係について語っていただきました。講演後のアンケートでは「中国への認識が変わった」「新たな視点を得られた」との声が多数寄せられました。

また、講演の終了後に、参加した留学生(6名)から、30周年を祝し、龍と鳳凰と牡丹の絵が施された、中国の伝統的な健康器具の健身球「鉄球」が富谷市日中友好協会に贈られました。

今回の催しには、富谷市内外から85名が来場し、20代以下から70代以上まで、幅広い世代が参加されていました。「馬頭琴の調べと講演会」は、異文化交流の意義を改めて実感させる機会となり、設立30周年という節目を祝うにふさわしい記念事業となりました。

(富谷市日中友好協会事務局長 安住稔幸)



2. 長野で女性委員会が第24回総会



40周年を迎えた全国女性委員会の総会が6月8日、長野市のメトロポリタンホテルで行われ、来賓も含め地元長野を中心に全国から110人が参加し、宮城県からも9名が参加しました。

総会では新委員長に奥真理子さん(東京)が就任。日中友好へ更なる中国の女性団体との交流を行う等、を決議しました。また次回第25回総会を2028年に仙台で開催されることが決まり、交流会でアピールを行いました(写真)。記念講演では日本で活躍している水墨画家・傳益瑤(ふえきよう)さんが「日

本のまつり画を描いて」と題してと語りました。

交流会では中国大使夫人・丁玥(ていげつ)さん等が出席。歴代の全国委員長への感謝状の贈呈もあり、宮城関連では故・長池博子さんへは金井恭子・相談役に代理授与されました。

3. 元温州市水産加工技術研修生の訪問団歓迎交流会開かる！

元温州市水産加工技術研修生一行の歓迎交流会が6月21日石巻グランドホテルにおいて、元温州市水産加工技術研修生や家族など15名と石巻市長や研修生受け入れ企業の関係者など64名の参加で盛大に開かれた。石巻地区日中友好協会からは白井会長をはじめ今回の訪問団受け入れの世話役である会員の和田さんなど7名が参加した。

歓迎交流会は主催者を代表して齋藤石巻市長の挨拶で開会し市議会議長の祝辞を頂戴し、元温州市水産加工技術研修生の皆さんに記念品を贈呈し、代表して沈 海欧さんから御礼の挨拶を受けました。乾杯の音頭を白井会長が行い祝宴に入りました。祝宴の中では日本舞踊や民謡など披露されました。大漁踊りでは参加者が揃いの法被を着て交流を深めました。終わりに元研修生より一言発表がありました。和田さんの閉会挨拶で歓迎交流会を閉めました。(石巻地区日中友好協会理事長 木村正幸)

